

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1284	鞆田地区排水処理施設維持管理費	会計	10	農長集落排水事業特別会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	款	01	事業費
担当部課名		阿山支所 産業建設課 下水道室	項	01	施設管理費
作成者氏名	葛原 吉彦	連絡先 0595-43-1486	目	01	施設管理費
			細目	101	施設管理費
			細々目	12	鞆田地区排水処理施設維持管理費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	鞆田処理区(上友田・中友田・下友田地区)の受益者	施設の良好な維持管理を行うことにより、公衆衛生の向上、公共用水域の保全が図られ、良好な自然環境、快適な生活環境のなかで暮らすことができる。
本年度事業内容	処理施設の維持管理及び施設使用料の徴収事務	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等
市内の類似施設	浄化槽法・水質汚濁防止法・伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例、同施行規則	
	上之庄、朝屋・百田、下友生、桂、古山、比自岐、府中第1、府中第2、府中第3、西高倉、猪田、長田、上三ヶ区、中矢第1、中矢第2、平田、真泥、奥馬野地区農業集落排水施設	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5
	人件費合計(A)	10,800	10,800	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	4,900	11,121	12,548
	委託料	2,445	7,771	8,069
	需用費	1,614	2,630	3,830
	役務費	746	649	649
	その他	95	71	0
合計(A+B)		15,700	21,921	23,348
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担	330		
	使用料	7,090	11,121	12,470
その他特財			78	
一般財源	8,280	10,800	10,800	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
水質検査	件	3	6	6			
汚泥量	m ³	0	340	420			
電気代	千円	1,510	2,400	3,600			
賦課件数	件	269	269	269			
水洗化率	%	48	65	80			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
排出基準達成率 (達成回数/測定回数)	処理場からの処理水を浄化槽法・水質汚濁防止による排出基準に適合するよう処理されているか状況を把握する必要がある。	%	100 目標 (100)	100	100
徴収率 (徴収額/測定額)	施設の管理・運営については健全経営のために施設使用料の徴収の必要性が大きいことから、徴収率を上げる目標は指標となる。	%	97.4 目標 (95)	95.0	95.0

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>鞆田処理区は、平成16年10月に処理場が完成し、17年2月に供用開始する計画で進めてきましたが、当初の予想より大幅に低い接続率で処理場の負荷試運転ができない状態で、処理施設への接続、宅内排水設備工事の推進等、協力と理解を求め、8月からの供用開始となりました。関係受益者の協力により現在接続率54.6%、施設の運転は順調で排水基準もクリアしておりますが、電気量・汚泥量の増加による維持管理経費のしめる割合が高く、維持管理経費コスト削減の工夫と接続率を上げることで使用料収入の増が考えられる。</p>

評価	必要性	4	処理場施設及び中継ポンプ場施設の運転管理を適正に行い、設備の延命化を図るとともに、計画的な補修、改築を行っていく必要がある。また、流入汚水の円滑な処理を図り、処理過程で発生した汚泥の円滑な処理を図るため処分方法等の検討を要する。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A